暑い夏ではありますが
社名入りカレンダーの制作は お早めにご注文を!!

カレンダーの印刷工場は９～11月が最盛期になり極端に需要が膨らみます
近年は慢性的な人手不足になっており、短納期での対応が難しくなっています
ご希望の絵柄の確保や希望納期にお応えするために
ご注文は8月中にしていただけると助かります！

▼壁掛けタイプ

▼はがきカレンダー

▼卓上タイプ

その他にもカレンダー用の箱や卓上封入用の封筒なども
取り揃えておりますのでお気軽にお問い合わせください

株式会社　宏　和　Kowa Corporation
東大阪市長田東 1-7-22　TEL 06-6789-2313　FAX 06-6789-2339
https://www.d-kowa.co.jp/　https://scanning.jp/

オンデマンド印刷	会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
冊子印刷	取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
電子化業務	紙文書・紙図面スキャニング（電子化）サービス、データエントリー（入力）、データコンバート
CAD業務	CADデータ出力、CADデータ入力（トレース・設計）、電子納品データ作成
コピー・製本	大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
その他	人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャニング、WEB制作

コウワノワ 7 Vol.70
発行者：株式会社宏和
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東1－7－22　TEL 06-6789-2313
（株）宏和

㈱宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウワノワ

MONTHLY NEWS LETTER Vol.70
2021 7 July

先日、久しぶりに同業社長数名と話す機会がありました。WEBで積極的に受注されている会社、新商品を今話題の支援サイトのMakuake（マクアケ）を使って売り出した会社など、コロナ禍にあって各社非常に努力されており、とても刺激を受けました。

代表取締役　**目笠宏昭**

社会人に役立つ話題の本

最近は電車に乗ってもスマホを触っている人がほとんどで、本を読んでいる人が少なくなってきたように感じます。しかしながら、スマホで電子ブックを読んでいたり、新聞も電子版を見ていたりなど、見た目ではわからないようです。コロナ禍で本を読む時間が増えた、という人も多いようですが、今月は話題の本を２冊紹介したいと思います。いずれも６､７年前に出版されましたがロングセラーとなって増刷されている本です。

●私生活や仕事でモヤモヤ感が消えない、モチベーションが上がらない方へおすすめ

「エッセンシャル思考」

～最少の時間で成果を最大にする～
グレッグ・マキューン著　かんき出版

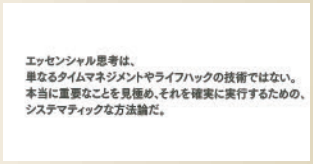
経営学者のピーター・ドラッカー（1909～2005）は2000年の著書でこのように述べています。「数百年後の人々がわれわれの時代を振り返るとき、歴史家の目にとまるのは技術やインターネットよりも、人々の状態が大きく変わってしまった事実だろう。歴史上初めて、大多数の人々が選択肢を持つようになったのである。ただし社会はいまだ、そのような時代に対応できていない。」この本の冒頭で、ドラッカーの言葉が紹介され、現代人は多くの選択肢を持つことにより、何が大事で何がそうでないかを見分けられなくなっており、正しい決断ができなくなっている、と説明しています。その上で、

「やらなくては」ではなく「やると決める」
「どれも大事」ではなく「大事なものはめったにない」
「全部できる」ではなく「何でもできるが、全部はやらない」

という「エッセンシャル思考」の重要性を説いています。
もう少し具体的には、「エッセンシャル思考」になるために、「見極める技術」「捨てる技術」「しくみ化の技術」を身につけ、シンプルで幸福な人生を送ろう、ということです。
象徴的な言葉として、

「本質を知り本質を生きる」
「十分な睡眠が脳の機能を高める」
「これしかない、と思えることを選ぶ」
「上手に NO という技術を身につける」
「面倒くさい人たちと一線を画す」
「小さな一歩を積み重ねて進歩する」

などが挙げられており、「エッセンシャル思考を生きることは、後悔なく生きることである」と述べられています。



↑帯裏面

●他人の言葉やネットの情報に惑わされたり、腹を立てたり、悩んだりしている方へおすすめ

「反応しない練習」

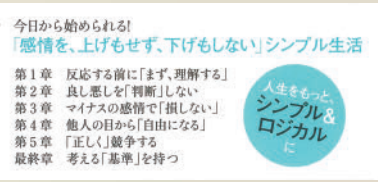
～あらゆる悩みが消えていくブッダの超・合理的な「考え方」～
草薙龍瞬著　KADOKAWA

中学中退後、16歳で家出し放浪ののちに大検（高認）を経て東大法学部を卒業、インド仏教指導僧・佐々井秀嶺氏のもとで得度出家した著者が、2,500年前にブッダ（お釈迦様）が悟った人間の本質と教えをもとに、現代人の悩みを解決する本です。

本は、「反応する前に、まず、理解する」、「良し悪しを判断しない」、「マイナスの感情で損しない」、「他人の目から自由になる」、「正しく競争する」、「考える基準を持つ」という流れで進みますが、随所にブッダの言葉が散りばめられ、わかりやすく進んでいきます。

例えば、「良し悪しを判断しない」に関連して、「困った相手とどう関わるか」というページがあります。まず、相手との関わり方の原理原則が書かれています。

相手のことを「判断」しない
過去は「忘れる」
相手を「新しい人」と考える
「理解し合う」ことを目的とする
「関わりのゴール」を見る



帯裏面→

判断はいつも自分自身の「承認欲」､つまり「慢」につながっています。相手に「ダメ出し」する、「ああ、困った」と嘆いて見せる、そのことで「自分は正しい」と確認したり、相手への優越感を覚えたりします。心の内側を見つめて、なるべくクリアな心を保つという生き方にてらせば、「しなくていい判断は､しないほうがいい」ことになります。判断にはさまざまなマイナスがあります。相手が身近で、大切な人であればあるほど、余計な判断はしないに限ります。・・・・と、こんな感じです。実例として、親が勝手に子供を判断することで、子供が自殺に追い込まれてしまう例などが出てきます。過去は「忘れる」に関しては次のようなブッダの言葉が記されています。
「あの人は、わたしを罵った、わたしを否定した、わたしに勝利した、わたしは奪われた、と思い続ける人は、（記憶に反応して怒りつづけているのだから）怨みが止むことはない。」
悩みは「消す」ことができる。そして､それには「方法」がある。この本のキャッチフレーズです。

表紙の撮影場所　茨木市　西河原公園